

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市中京区式阿弥町計画 新築工事	階数	地上11F
建設地	京都市中京区油小路通御池下る式阿弥町128番他	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	196 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2018年1月31日
敷地面積	708 m <sup>2</sup>	作成者	松本拓弥
建築面積	436 m <sup>2</sup>	確認日	2018年2月5日
延床面積	3,419 m <sup>2</sup>	確認者	中村浩二



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.6

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
歴史ある土地であるため、その歴史を元に落ち着いた色味や格子を使用したデザインとしている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
室内環境の向上を目指しF☆☆☆☆建材を使用している。	劣化対策等級3の取得を予定しており、耐久性に優れた建物としている。	坪庭やルーバーを用い、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能等級4の取得を予定、また太陽光パネルを設置し建物の省エネルギーに配慮している。	有害物質を含まない建材種別を採用している。	福祉用駐車場の設置や駐輪場の確保を行い、敷地内外の環境に配慮した計画を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される